Victor

取扱説明書

スピーカーシステム

型名 **XS-SR3-B**
XS-SR3-P
XS-SR3-S
XS-SR3-W

VIRTUAL DOLBY SURROUND

Made for iPod

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

別売りのオプション品

・ステレオミニプラグコード: CN-203A(1.5 m)
・光デジタルケーブル: XN-110SA(1 m)

■別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
部品番号は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話(045)450−8950 FAX(045)450−2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、右記の「お客様の個人情報のお取り扱いについて」をご覧ください。
ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

GVT0291-001B 0410YAMMDWJMM

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から一年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(別紙)をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは **持込修理**

「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ		
	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎ (　　　)　　　-

■この製品の製造時期は本体の底面に表示されております。

安全上のご注意−はじめにお読みください

▼ 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▼ 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意　感電　手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水場での使用禁止　接触禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。
- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。
火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。
火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない。
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。
感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。
頭からかぶると窒息の原因となります。

欧州連合のリサイクルマークです。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。
- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。
- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめから音量を上げすぎない。
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。
一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池・リチウム電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

ACアダプターの取り扱いに注意する。
火災や感電の原因になるため、
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 付属のACアダプターを本機以外の機器には使用しないでください。

付属の電源コード以外は使用しない。
火災や感電の原因となることがあります。

付属の電源コードを本機以外には使用しない。
火災や感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

本機の置き場所について

- 故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
  湿気やほこりの多い所、バランスの悪い不安定な所、熱器具の近く、OA機器やけい光灯のすぐそば、風通しの悪い狭い所、直射日光の当たる所、極端に寒い所、振動の激しい所、他のアンプ、チューナーのそば、磁気を発生する所
- 本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらが生じる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。
  1 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。
  なお、テレビの主電源スイッチは、切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
  2 テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは、十分離して設置してください。

ご注意
- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

音楽を聞くときのエチケット

- 音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
  特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めてご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。
  このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お願い

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

故障かな？と思ったら

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

電源が入らない。
➞ 電源プラグをしっかり差し込んでください。

音声が聞こえない。
➞ 音量を調節してください。
➞ 一時的に消音されています。リモコンの[消音]を押してください。

リモコンで本機を操作できない。
➞ 絶縁シートを引き抜いてください。
➞ 新しい電池と交換してください。
➞ リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
➞ リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
➞ リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。
➞ 本体に近づいて操作してください。

主な仕様

入力端子	アナログ入力端子(ANALOG IN)：125 mV/50 kΩ
	角型光デジタル入力端子(DIGITAL IN)：-21 dBm ～ -15 dBm (660 nm ±30 nm)
スピーカー	種類：フルレンジ防磁形・バスレフ方式
	スピーカーユニット：4 cm × 2
	定格インピーダンス：4 Ω
iPod出力電源:	DC 5 V ⎓ 500 mA
電源:	付属のACアダプター (AA-R606)
	入力：AC100 V - 240 V、50 - 60 Hz、1 A
	出力：DC 6V ⎓ 1 A
外形寸法:	幅390 mm ×高さ103 mm × 奥行き136 mm
質量:	0.55 kg

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- "Made for iPod"とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとディベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

準備する

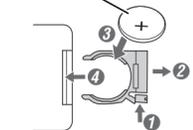
付属品の確認

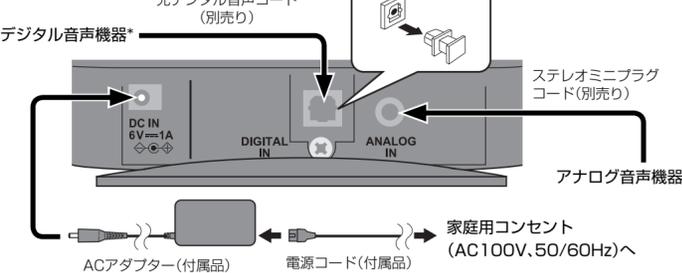
お使いになる前にお確かめください。
- リモコン（1個）　RM-SXSSR3-B（XS-SR3-B、XS-SR3-P用）
  RM-SXSSR3-W（XS-SR3-S、XS-SR3-W用）
- リチウム電池 CR2025（リモコン動作確認用・1個）
  – 出荷時にリモコンの中に入っています。
- ACアダプター AA-R606（1個）
- 電源コード（1個）
- iPod用ホルダー（3個）
- コアフィルター（1個）

リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池を交換する

操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

ご注意
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

接続

* 本機でデジタル音声機器を再生するときは、2チャンネルのリニアPCM（サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz）のみ再生することができます。

ご注意
- すべての接続が終わるまで、電源コードをコンセントに差し込まないでください。

コアフィルターの取り付け

お使いの前に、付属のコアフィルターをACアダプターのコードに取り付けてください。ノイズを軽減させることができます。

1 コアフィルターが閉じている場合は、ストッパーをはずしてコアフィルターを開く

2 コアフィルターにコードを通し、さらにコードを一巻きさせる

3 コアフィルターを「カチッ」という音が鳴るまで閉める

ご注意
- 巻き付けるときに無理な力を加えてコードを引っ張ったりすると、コードを損傷させる恐れがあります。

操作する

基本操作

1 電源を入れる
スタンバイランプの色が緑に変わります。

2 ソース（音源）を選ぶ
- iPodを再生するとき：手順**4**へ進みます。
- 他の機器を再生するとき：手順**3**へ進みます。

3 接続した機器を再生する

4 音量を調節する

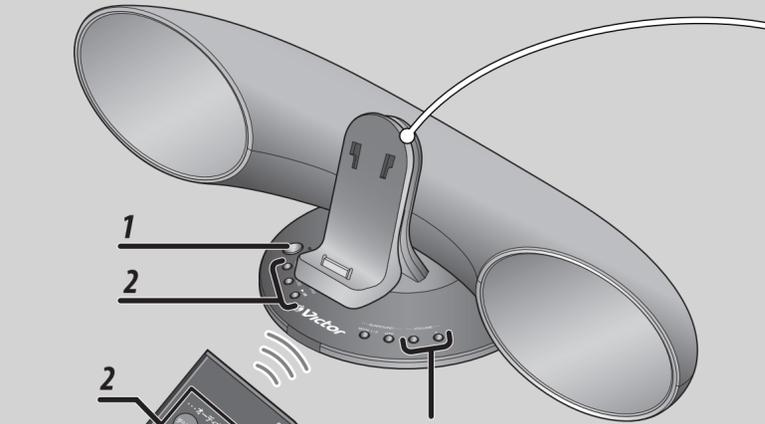
ご注意
- 音声を出力する前には音量を小さくしてください。音量が最大に設定されていると、スピーカーが破損したり、視聴障害の原因となることがあります。

サラウンドを使う

サラウンドを使うことにより、仮想のサラウンド効果を得ることができます。
[サラウンドモード1/2]（または本体の[SURROUND MODE 1/2]）をくり返し押して、サラウンドモードを選びます。

サラウンドモード1: 自然な音の広がりを実現します。
- サラウンドモード1を選ぶと、操作確認音が1回鳴ります。

サラウンドモード2: サラウンドモード1よりもさらに深い音の広がりを実現します。
- サラウンドモード2を選ぶと、操作確認音が2回鳴ります。

- サラウンドモードを解除するには、[サラウンド オフ]（または本体の[SURROUND OFF]）を押します。

操作確認音を消す

- 操作音を「オン」に戻すときは、もう一度[ビープ音]を押します。
- 設定を「オン」にすると操作確認音が1回、「オフ」にすると操作確認音が2回鳴ります。

一時的に消音する

- 音量をもとに戻すには、もう一度[消音]を押すか、音量を調節します。

iPodを再生する

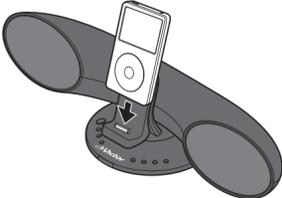
iPod使用時のご注意
本機の故障または不測の事態により、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

再生できるiPod

iPod nano
iPod nano（第2世代）
iPod nano（第3世代）
iPod nano（第4世代）
iPod mini
iPod mini（第2世代）
iPod（第4世代）
iPod classic
iPod photo（第4世代）
iPod video（第5世代）
iPod touch
iPod touch（第2世代）

iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
- iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>

iPodの接続

iPodを本機のiPod用ドックに完全に奥まで差し込んで、接続します。

ご注意
- iPodを接続するときまたは取りはずすときは、本機の電源を切ってから行なってください。
- 本機にiPodを接続したまま、持ち運んだり移動したりしないでください。iPodがはずれて、本機またはiPodの破損の原因になります。
- 本機のコネクタ部分に直接さわったり、ものを当てたりしないでください。破損の原因になります。

iPodの回転

iPod touchとiPod nano（第4世代）を本機に接続しているときは、iPod用ドックを回転させ、映像の向きを変えることができます。

1 付属のiPod用ホルダーを取り付けて、iPodを固定させる
- iPod用ホルダーは接続するiPodの大きさに合わせて選んでください。

2 iPodとiPod用ホルダーをおさえながら、iPod用ドックを反時計回りに回転させる

ご注意
- iPod用ドックを回転させるときは、無理な力を加えないでください。
  また、手を挟まないようにご注意ください。

基本操作

- 曲の選択：　[I◀◀]または[▶▶I]を押す
- 早戻し・早送り：　[I◀◀]または[▶▶I]を押しつづける
- シャッフル再生：　[シャッフル]を押す
- リピート再生：　[リピート]を押す
- スリープ：　[iPod ▶/II]を押しつづける

メニュー操作

1 [メニュー]を押してメニューを表示する

2 [アップ]または[ダウン]を押してメニュー項目を選び、[選択]を押して決定する
iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

- 一つ前のメニューに戻るには、[メニュー]を押します。

お知らせ
- 本機の電源コードをコンセントに接続しているとき、接続しているiPodを充電することができます。